

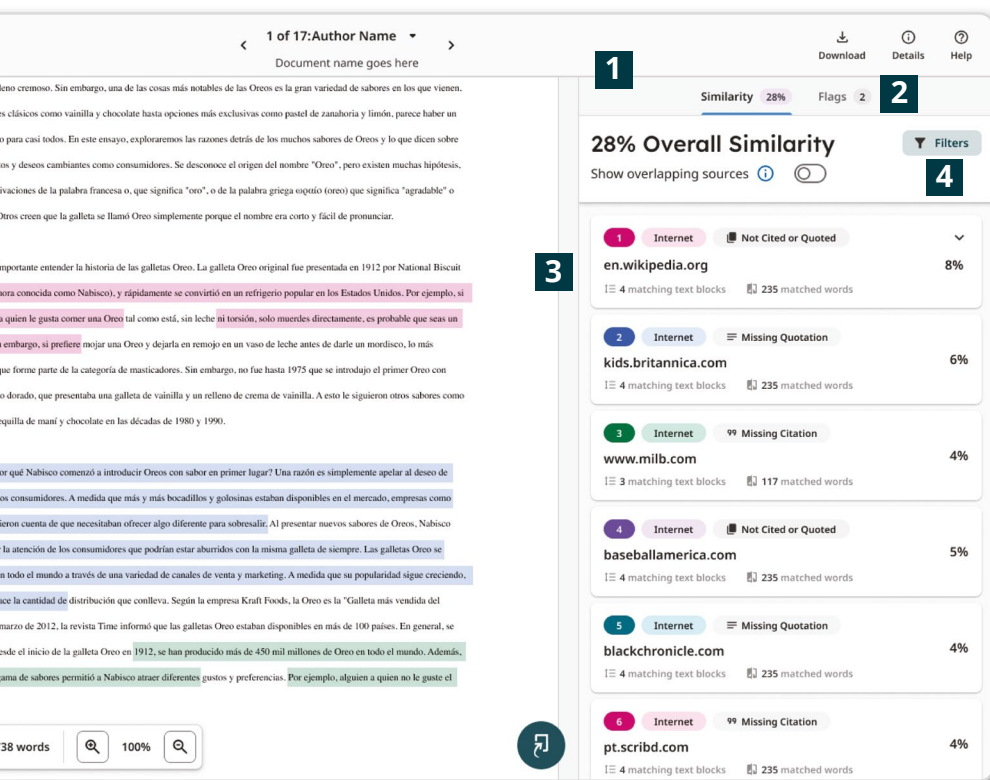
類似性レポートの理解： 教育者向けガイド | 新たな体験

教育者向けガイド

Turnitin類似性レポートは、ある課題のために選択した検索対象と提出物を比較した結果です。検索対象となるのは、ネット上に存在する数十億ページのアクティブ/アーカイブ情報、Turnitinに過去に提出された成果物のデータ、数万件の定期刊行物やジャーナル、出版物のデータなどです。

類似性スコア

類似性スコアは、学生の文章がインターネット、当社のデータベース、他者の論文・レポートなどで検出された文章と類似する割合を示すものです。類似性があるというだけで、その成果物が盗用・剽窃であるということにはなりません。スコアを確認する際は、学生がどのように引用文や引用情報、書誌を用いているかをご検討ください。



The screenshot shows the Turnitin Similarity Report interface. On the left, a document titled "1 of 17: Author Name" is displayed. On the right, the similarity report is shown, featuring a "28% Overall Similarity" summary and a list of sources. The sources listed include:

- en.wikipedia.org (8% similarity, 4 matching text blocks, 235 matched words)
- kids.britannica.com (6% similarity, 4 matching text blocks, 235 matched words)
- www.milb.com (4% similarity, 3 matching text blocks, 117 matched words)
- baseballamerica.com (5% similarity, 4 matching text blocks, 235 matched words)
- blackchronicle.com (4% similarity, 4 matching text blocks, 235 matched words)
- pt.scribd.com (4% similarity, 4 matching text blocks, 235 matched words)

Numbered callouts in the image indicate: 1. Similarity tab, 2. Flags tab, 3. Document text, 4. Filters button.

合理的な類似性スコアとはどのようなものですか？

スコアとして受け取る数字に良いも悪いもありません。課題に対する許容基準を、各機関で割り当てているかもしれませんが、そうした基準がない場合は、以下の対応をご検討ください。

- 課題に対する合理的な基準を設定します。学生が出典のテキストを使っていれば、通常はいくらかの類似性が予想されます。類似性にゼロを求めるということは、出典に基づくエビデンスを学生の文章に含めることを一切認めないのと同じことです。
- フィルターを使って引用情報や引用文、書誌情報を戦略的に除外し、学生のスコアに影響しないようにします。

直感的なタブのナビゲーション 1

新しくなったタブのナビゲーションで、ユーザーはフラッグパネルなどの各種レポート機能に簡単にアクセスできます。

フラッグ 2

[フラッグ (Flags)] パネルには、課題で検出された置換や隠し文字などのテキスト操作が表示されます。これらの操作は、類似性チェックのアルゴリズムを避けようとする試みがあったことを示すものです。

ソースカード 3

ソースカードには、名前、文書中のテキストの一致率、一致したテキストブロックと単語の数など、出典に関する多くの情報が表示されます。また、出典のテキスト全文を確認したり、一致箇所をソースカードから直接除外したりすることもできます。

フィルターと設定 4

新しいフィルターパネルには、不要な一致を除外したり、学生の提出物を照合するデータベースを変更したりできるさまざまなオプションがあり、レポートをカスタマイズして分析を合理化できます。

スコアについて学生にどのように話をすべきですか？

教育者は、学生が見るのと同じ類似性レポートにアクセスできます。

- 学生のスコアに予想されることを伝えましょう。たとえば、複数の出典を示す必要がある課題では、特にフィルターと設定の構成によっては、いくらか類似性のある結果が出るがよくあります。予想されることを知らせておけば、学生は類似性スコアとどう向き合えばよいか理解を深めることができます。
- 学生の課題レポートと類似性レポートに関する詳細とデータを利用しましょう。そうすることで、学生の現在のスコアと改善するために必要な変更について、情報に基づく会話が可能になります。
- 成果物と類似性スコアについて振り返る時間を学生に与えましょう。スコアを改善できそうな方法について考えさせ、教育者であるあなたからの支援が特に必要と思われる事柄を書き留めます。

改善に向けた学生指導

Turnitin類似性レポートの最も有効な活用方法の1つが、作文と研究実践の改善に向けた学生指導に利用することです。Turnitin類似性レポートから学生が学べるよう、以下の対応を検討してみましょう。

- レポートを使って、データベースやネット上の出典と類似するテキストが特に多い箇所を特定します。効果的な引用や言い換え、要約の仕方を学生と一緒に確認する簡単な講習を実施し、文章中の類似テキストの分量が少なくなるよう当該箇所のテキストの書き直しをさせます。
- レポートを使って、引用したテキストが特に少ない（つまり、学生自身のアイデアの後ろ盾となる根拠が示されていない）箇所を特定します。研究に基づく根拠を取り入れる効果的な方法を学生と一緒に確認する簡単な講習を実施します。

フラッグパネルを使用する

Turnitinフラッグパネルのメタデータは、学生がTurnitinのシステムを明らかに欺こうとしているケースの判断に役立ちます。学生の疑わしい成果物を確認する際は、以下の各要素がないか確認してみましょう。

- **隠し文字:** 見えないように白色に変更された隠し文字。学生が文字数を意図的に増やして、全体の類似性スコアを下げようとした可能性があります。
- **テキストの置換:** あるアルファベットの文字で別のアルファベットの文字を置き換えます。文字を置換して元の出典とわずかに異なる言葉にすることで、学生が意図的に類似性の検出を避けようとした可能性があります。